

～模擬国連（Model United Nations）とは～

学生が各国の大使になりきって、実際の国連の会議を模擬する活動。最終的には大使同士で協力して決議案（DR）を作成し、会議で話し合ったことをまとめます。



HOW TO START MUN??

0. 個人目標の設定

自分が会議に参加する中で、どんなことに挑戦してみたいのかを具体的に思い描いてみる。たくさん友達を作りたい、賞をとりたい、カッコよく英語を話してみたいなど動機はさまざま！何を自分の目標にするのか考える。



1. 会議設定の確認

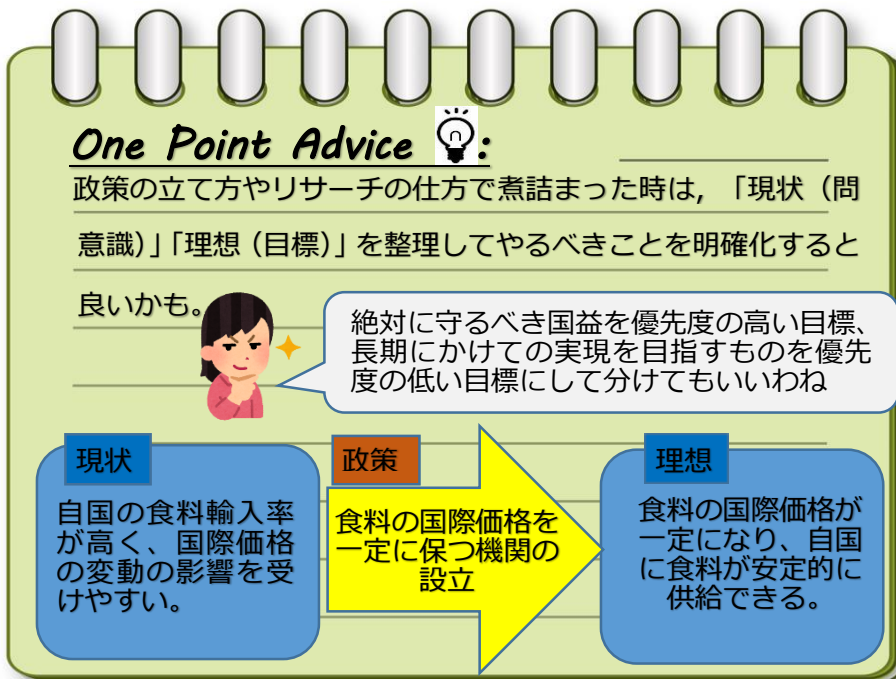
まずは、参加する会議の4W、自分がどの国の大使として（**Who**）、どの議場で（**Where**）、何の議題で（**What**）、いつの時期（**When**）なのかを Check！



2. リサーチを徹底的に。

鍵はリサーチにあり！会議設定や、自国の情報などについて事前に調べながら、自分の大使

としての会議行動のスタンスを決めよう。自国の国益が最も反映しやすいような方法を 1H1W、どのように（**How**）、なぜ最適なのか（**Why**）を考えながら政策として形にしてみます。自国の



政策が他国にはどのように映るのかをリサーチから考えて会議行動の戦略を練るのも Good◎

3. いざ、会議へ！

いよいよ待ちに待った本番。どんな人がいるか、政策を受け入れてもらえるか、始まる前はみんなドキドキ。いかに他の人と協力できるかは大使としての腕の見せ所 🙌 まずはちょっと怖くても、笑顔でいることを意識して、スピーチやモデで発言してみるなど最初の一步を踏み出す勇気が大事！



～会議の主な流れ～

- ・ **Formal Debate 公式討議**：(会議の基本進行)

Speech スピーチ

基本的に会議はこれで進行します。各国大使のスタンスや議場把握をするのにとっても有効。

- ・ **Motion 動議**：(公式討議の合間に大使の提案で挟める会議行動のこと)

Moderated Caucus モデ

いわゆる学級委員方式。話題を決めて、着席した状態で1か国ずつ発言します。

Unmoderated Caucus アンモデ

自由に席を立てて交渉に行ける方式。ここで実際にみんなで集まって決議案をまとめていきます。

Submission 文書の提出

決議案 (DR) や修正案 (アmend) を議場に提出します。これによってその文書を投票にかけられるようになり、採択、否決が決まります。

基本的にはこれの組み合わせで会議が進行します！他にもシステムとしてメモ回しも活用できます。

メモ回し：会議中、個別にメッセージを伝えたい大使にメモを運んでもらえます。

4. おつかれさまです、会議のレビュー

ひとたび会議が終わったら一安心。自分の会議行動をじっくり振り返って、自分が模擬国連に対して求めていたものについての到達度を評価する。反省



を今後の糧に、課題の達成による自信と会議でのご縁を今後の財産にして下さい！

もっと詳しく知るためには、こちらを参照→模擬国連マニュアル